



# Merry Christmas & Happy New Year

12月19日(火)・20日(水)・21日(木)の3日間に白ゆり幼稚園2大イベントの一つ、第52回『生活発表会』を北海道青少年会館音楽ホールで行います。  
器楽合奏、リズム劇、オペレッタ… 子供達一人一人がこれまでの幼稚園生活で育んだ個性の翼を広げて、白ゆりっ子達が大きく羽ばたきます(^\_^)-☆



さて、今年も残すところ、あとわずかとなりました。  
2023年の「ひよこくらぶ」は、本日が最後の開催となります。2024年1月の開催はお休みです。次回の開催は、**2月17日(土)**です。参加予約の受付は**1月23日(月)**です。

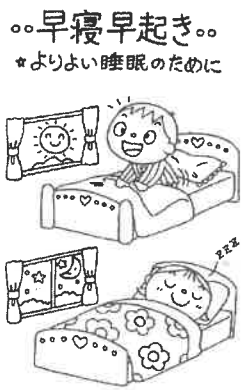
年の瀬を迎え、何かと気ぜわしい毎日となります。  
お体をご自愛され、良い年をお迎え下さい。  
新しい年が、子供達にとって、たくさんの幸せがあることを願っております。

学校法人札幌白ゆり幼稚園  
スタッフ一同

## ♪♪♪子供には良い習慣を！♪♪♪

子供は「環境」で育ちます！ その一番の「環境」は『家庭』です。これは、あの福沢諭吉先生が明治の教育論でも書いています。  
家庭は、`習慣の学校、で、パパやママは、`習慣の教師、であり、習慣の学校である『家庭』は、教育をする学校よりもさらに大事な存在なのです。

我が子を育て、家庭できちんと教育することは、  
パパやママの大切な義務ですね。  
家庭での`良い生活習慣(躾)、がいかに重要であるか!? もうおわかりになりますね。  
心理学的には、生まれる以前にすでに両親から受け継いでいる「気質」を基に、だんだんと性格は形成されていくそうです。  
その最も重要な時期が3歳までとされています。



その期間は、パパやママ、その他の家族の方の影響を最も受けやすく、その大切な時期に、過保護・過干渉・放任・溺愛で育ててしまうと、成長するにつれて、益々`躾、がやりにくくなってしまいます(>\_<)そして、次の段階の10歳までに人格の基礎は、ほぼ出来上がると言われる、その大切な時期にどんな「環境」で育ったかによって、その子の人生は大きく変わります。

「幼児期から`我慢、させる子育ては良くない！」という声を聞きますが、決してそうではありません。現代社会では、多くの問題を抱えている青少年がたくさんいます。不登校・引き籠り・いじめ… 社会に適応出来ず、悩み、苦しんでいる若者の多くが、幼児期から`過保護・過干渉・放任・溺愛、の環境で育てられていたということは、児童心理学の世界でも、はっきりと証明されています。  
何から何まで我慢させる必要はありませんよ。「続きは明日ね…」「食事の前にお片付けを…」「一つしかないから半分ずつね…」というように`小さな我慢、でいいのです。  
『家庭』という`習慣の学校、で学んだことを、復習して応用して適応させる場であることが、幼稚園や小学校といった集団生活の「環境」の本来の役割です。

**お子さんの将来に向けて`良き習慣の教師、であるパパとママの責任は大きいですね！！**